

従事者部会誌

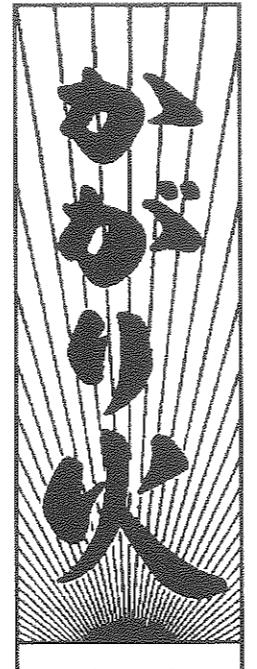
(1)

平成26年7月1日 第28号

更なる従事者部会の発展を目指して



第20代従事者部会長
二上 英樹



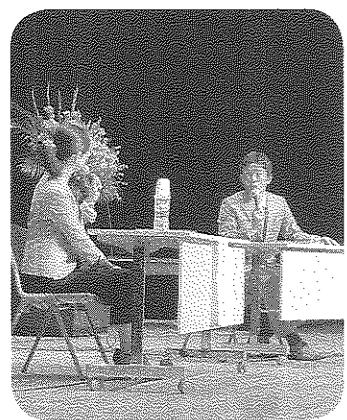
発行所
〒542-0065
大阪市中央区中寺1-1-54
大阪社会福祉指導センター内
大阪府社会福祉協議会
従事者部会
発行人 二上 英樹

この度、平成26年7月より前従事者部会長である竹田功先生の後任として、第20代従事者部会長に就任させて頂きました。障がい者活動支援施設ワーカーショップからりんの二上(にかみ)英樹(ひでき)です。60年を超える従事者部会の歴史と伝統に関わることの重責、また歴代の部会長をはじめとした先輩方の功績や想いを感じ、引き継ぐことの重責を日々感じております。微力ではござりますが、歴史ある従事者部会の発展のため誠心誠意努めたいと思いつますので、今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。

従事者部会は、大阪府社会福祉協議会に属する各種別(老

人・児童・保育・医療・母子・セルブ・成人)の部会から推薦された施設の先生方(常任委員)で構成され、各種別の部会はもちろんのこと、産経新聞厚生文化事業団様や大阪民間社会福祉事業従事者共済会様をはじめ、数々の関係機関の長年にわたり多くのご支援に支えられております。年間を通じて社会教養会長に就任させて頂きました、や人材育成、コミュニケーションなど様々なテーマを取り上げた研修企画、また共済会行事への積極的な参加をもつて福利厚生の充実を図ることで、従事者皆様のための有益な部会を目指していくないと考えています。

また、従事者部会は全国でも類をみない組織であり、4万人を超える社会福祉従事者皆様の部会です。皆様と一緒に大阪の福祉を盛り上げていきたいと考えていますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。



とても楽しい講演会でした

● 子どもも関わる仕事をしており、日々指導ということで悩んでおります。グループワークという部分でも集団をまとませること、引っ張ることにも難しさを感じています。お話を聞くことでよかったです。何が正解なのかはわかりませんが、ヒントを頂けました。

● 興味深いお話をしました。子ども達へ色々なお話をしていく中で、うまく伝えられない、伝わらない、しんどさを感じていました。赤星さんのお話を伺つて、そこを見つめ直して、これからやっていこうと思いました。

● 人を育てる、各々の持ち味を見極めて接する、育てる事、職場でも当てはまる事でした。若い人を育てる難しさを考えさせられました。

● 赤星さんが言わっていたように「勇気」を持つて大切な時に自信を持つてスタートが切れるよう、それまでの

従事者部会誌

平成26年7月1日 第28号

(4)



パン販売の様子
池田 美香さん

ボンチセビリカ・パン工房エビは大阪市にあるパン・ラスク、クッキーを製造・販売している福祉施設です。そこで私は、利用者

さんと共に販売を行っています。利用者さんによつては得意な事、得意でない事がもちろんあります。得意な事を伸ばすだけで解してもらう為にどう伝えていたらよいのかなど、悩んでしまった。ちょっととした工夫で出来なかつた事が出来る様になるそんな喜びを知つてもらうことで私

ぶりに消費税が5%から8%に引きあがれました。今回の増税の目的として、政府は年金・介護・医療・少子化対策といった社会福祉の充実を掲げています。

今年4月1日、17年ぶりに消費税が5%から8%に引きあがれました。今回の増税の目的として、政府は年金・介護・医療・少子化対策といった社会福祉の充実を掲げています。

域小規模施設もあります。一人ひとりの個性を大切にしながら、職員一同元気に日々のケアを行つております。どうぞよろしくお願いします。



新常任委員紹介
子供の家
西井 阳彦

市にある定員45名の児童養護施設です。また、定員6名の地

社会保険化が深刻な現代の日本では、社会保障財源のために所得税や法人税の引きあげをすると、現役世代への負担が高まるという懸念から、国民の多くが負担することができる消費税が財源確保のための手段として採用されました。メディアでは連日、消費税の引きあげに伴う、商品価格の上昇について報道されていましたが、今回の増税により、そのお金がどのように使われていくべきか、本来の目的をつかりと意識づけしなければなりません。

我々はこの消費増税を受け、本当に一人ひとりが望む社会の実現のために適切に使われているか、注意深く観察し、場合によつては社会福祉がおかれている現状や課題について主張していく必要があるのではないか

せん。我々はこの消費増税を受け、本当に一人ひとりが望む社会の実現のために適切に使われているか、注意深く観察し、場合によつては社会福祉がおかれている現状や課題について主張していく必要があるのではないか

常任委員名簿

(平成26年7月現在)

| 役職 | 施設種別 | 施設名 | 氏名 |
|------|--------|----------------|-------|
| 部会長 | セルブ | ワークショップかりん | 二上 英樹 |
| 副部会長 | 保育 | みどり幼稚園 | 橋田 浩史 |
| | 児童 | 南河学園 | 横山 泰直 |
| | 老人 | とりかい白鷺園 | 井上 卓司 |
| 常任委員 | 児童 | 高津学園 | 松本 幹生 |
| ク | 高津学園 | 村上 文啓 | |
| ク | 博愛社 | 平井 克典 | |
| ク | 聖ヨハネ学園 | 國井 裕 | |
| ク | 花園精舎 | 西井 陽彦 | |
| ク | 子供の家 | 友井 秀一 | |
| ク | 東光学園 | 吉木 由美 | |
| ク | 三ヶ山学園 | 野原 茂幸 | |
| ク | 信太学園 | 足立 英之 | |
| ク | 奈佐原寮 | 大嶋 茂子 | |
| ク | 三徳寮 | 宮武 信行 | |
| ク | みなと寮 | 新名 秀典 | |
| ク | フローラ | ボンチセビリカ | 東迎 礼紗 |
| ク | 保育 | 交野自立センター | 日野 信行 |
| ク | セルブ | 芝谷聖ヶ丘保育園 | 川畑 弘二 |
| ク | 保育 | たんぽぽ中条保育園 | 三角 寛子 |
| ク | セルブ | あすなろ保育園 | 大西 正剛 |
| ク | 保育 | 寺内さくら保育園 | 富田 祐介 |
| ク | セルブ | 三宝保育園 | 山唄 聖 |
| ク | 保育 | あい桂保育園 | 古賀 毅 |
| ク | セルブ | 弥刀さつき保育園 | 大東 将也 |
| ク | 保育 | 貝塚南保育園 | 長岡 誠宏 |
| ク | 母子 | 橋本保育所 | 岸田 知大 |
| ク | 母子 | 八尾母子ホーム | 林 真也 |
| ク | 老人 | 西天王寺悲田院養護老人ホーム | 上田 真也 |

(順不同・敬称略)

従事者部会とは “大阪府社会福祉施設全従事者の会”

(会員施設は平成26年4月1日現在)

- ◎保育部会 617施設
民間保育園を対象とした組織。
- ◎老人施設部会 451施設
特養・養護・軽費・ケアハウスなどを対象とした組織。
- ◎成人施設部会 98施設
救護・更生、内部障害者更生、婦人保護、知的・身体障害者更生施設などを対象とした組織。
- ◎児童施設部会 74施設
児童養護施設、乳児院、情緒障害児短期治療施設などを対象とした組織。
- ◎セルブ部会 115施設
授産施設を対象とした組織。
SELPとは、Sサポート(支援)、Eエンプロイメント(就労)、Lリビング(社会生活)、Pパーティシペイション(社会参加)の略。
- ◎母子施設部会 9施設
母子生活支援施設を対象とした組織。
- ◎医療施設部会 24施設
無料低額診療事業施設を対象とした組織。

平成25年度 集団指導者養成教室

第3回集団指導者養成教室

「ストレスとのつきあい方」

平成25年度 従事者部会人権研修

集団指導者養成教室は、介護・障がい・児童など、さまざまな分野の施設職員とともに研修に参加し、レクリエーション指導、消防・救命研修、社会教養研修など多彩な研修を通じて施設従事者の資質向上を図るという研修会です。

第1回集団指導者養成教室

「ひとりぼっちの私が

市長になつた」

平成25年6月8日、大江ビルにて第1回集団指導者養成教室が開催され、講師には茨城県高萩市長の草間吉夫氏をお迎えしました。この研修会には、現在児童養護施設に入所している子ども36名を含む、109名が参加しました。

講演会に参加した児童より

私たちと同じような境遇で育った草間さんの話を聞きました。

昔を振り返って、どのように生活していったか、どんな思いで過ごしていたかといふ話を、私は興味深く、楽しく聞いていました。

私は、これから的人生で何事があつても、後悔せず前向きに頑張る事が可能になりました。

私は、草間さんの講演会に残っているんだなあって思いました。私は、施設で生活しています。施設にいる誰も望んでいません。

実際に私

も「こんな所には居たくない」と当初は思いました。高校1年生から施設で生活する私にとって、団体生活は苦痛でした。でも草間さんのお話を聞いていると私の世界では、贅沢な悩みの様に感じました。草間さんの話を聞いていると私は元気になりました。もっと頑張ろうと思いました。(高2)

思いました。高校1年生から施設で生活する私にとって、団体生活は苦痛でした。でも草間さんのお話を聞いてると私の世界では、贅沢な悩みの様に感じました。草間さんの話を聞いていると私は元気になりました。もっと頑張ろうと思いました。(高2)

いました。高校1年生から施設で生活する私にとって、団体生活は苦痛でした。でも草間さんのお話を聞いてると私の世界では、贅沢な悩みの様に感じました。草間さんの話を聞いていると私は元気になりました。もっと頑張ろうと思いました。(高2)

第2回集団指導者養成教室

「消防訓練・普通救命講習」

毎年心肺蘇生法の実演中 消火訓練の様子 心肺蘇生法の実演中 消火訓練の様子

消防訓練・普通救命講習

消防訓練では消火栓を使用しての訓練、室内での煙発生実験、暗中での移動体験を行いました。普段救命講習ではAEDを含む心肺蘇生法などを学習しました。

いざという時に冷静に対応することができます。日々の訓練の積み重ねが大切だと感じました。今回の講習で学んだことは、施設で共有できるように努めたいです。

リーダー養成研修



リーダー養成研修 集合写真

2年前より、新規事業としてリーダー養成研修を開催。6月18日～19日、大阪市立信太山青少年野外活動センターで実施したところ、30名の方が参加されました。

私は従事者部会主催の若手職員向けのコミュニケーション研修に参加しました。内容で他施設の方々と関わっていいくのかと不安に思っていました。しかし、初日の研修を終えて、コミュニケーションの大切さを学びました。

若手職員向けのコミュニケーション研修会に参加しました。内容で他施設の方々と関わっていいくのかと不安に思っていました。しかし、初日の研修を終えて、コミュニケーションの大切さを学びました。

若手職員向けのコミュニケーション研修に参加しました。内容で他施設の方々と一緒にいました。

私は従事者部会主催の若手職員向けのコミュニケーション研修に参加しました。内容で他施設の方々と一緒にいました。

私は従事者部会主催の若手職員向けのコミュニケーション研修に参加しました。内容で他施設の方々と一緒にいました。

第46回施設職員ソフトボール大会



交野女子学院にて

1月28日～29日に毎年従事者部会で行っている宿泊研修が実施され20名常任委員が参加しました。今回も宿泊研修が実施され20名常任委員が参加しました。

1月28日～29日に毎年従事者部会で行っている宿泊研修が実施され20名常任委員が参加しました。今回も宿泊研修が実施され20名常任委員が参加しました。

平成26年5月22、23日運動公園にて第33回社会福祉施設従事者ソフトボール大会が開催されました。

平成26年5月22、23日運動公園にて第33回社会福祉施設従事者ソフトボール大会が開催されました。

従事者部会常任委員宿泊研修

備考等を丁寧に説明、見学

結果としては、予選2連勝し決勝トーナメント進出。一般短期処遇は、問題性が単純又は比較的軽く、「食」はストレスとも大切な関係があることを踏まえて今後の食育について、日常生活を改めようと思いついたりました。

結果としては、予選2連勝し決勝トーナメント進出。一般短期処遇は、問題性が単純又は比較的軽く、「食」はストレスとも大切な関係があることを踏まえて今後の食育について、日常生活を改めようと思いついたりました。

従事者部会で行っている宿泊研修が実施され20名常任委員が参加しました。交野女子学院は、全国で9つかない女子少年院であります。近畿2府4県、東海地方、北陸地方の14歳以上20歳未満の女子少年が入所されています。そこで、自分が何をするかを自己判断で行動できることが大事だと思つた。そこで、自分自身の生活を見直す機会になりました。私は、自分自身の生活を見直す機会になりました。



経方貴臣氏が母性に沈めたまま、「社会的視点」で映像を撮られたかったが、監督である経方貴臣氏によれば、「子宮に沈める」は今までに観た映画とは全く違うものであり、非常に衝撃的で感動的でした。

1月23日に出場し計3試合をボルダリング大会が開催されました。毎回、次は練習して上位を目指そうと意気込みましたが、結局練習不足?運動不足で大会当日を迎えるのです。しかし、自施設で、毎日同じ職員と接する中で疎かになりました。

私は従事者部会主催の若手職員向けのコミュニケーション研修に参加しました。内容で他施設の方々と一緒にいました。

私は従事者部会主催の若手職員向けのコミュニケーション研修に参加しました。内容で他施設の方々と一緒にいました。

私は従事者部会主催の若手職員向けのコミュニケーション研修に参加しました。内容で他施設の方々と一緒にいました。

私は従事者部会主催の若手職員向けのコミュニケーション研修に参加しました。内容で他施設の方々と一緒にいました。



経方貴臣氏が母性に沈めたまま、「社会的視点」で映像を撮られたかったが、監督である経方貴臣氏によれば、「子宮に沈める」は今までに観た映画とは全く違うものであり、非常に衝撃的で感動的でした。